

沖縄産ヤケヤスデに対するプロポクスル微粒剤の効力試験

衛生動物室 岸本高男 比嘉ヨシ子

プロポクスル微粒剤（1%）が沖縄産のヤケヤスデに対し殺虫効力があるかを評価するために効力試験を実施した。

供試虫及び供試薬剤

供試虫はヤケヤスデを使用し、虫は沖縄南部の糸満市で採集した。薬剤はプロポクスル1%微粒剤を使用し、殺虫効力を比較するためにスミチオン1%粉剤を併用した。

試験方法

1、長さ79cm×幅45.5cm（表面積3.752m²）、高さ20cmのポリ容器を3個用意し、各々の容器に砂5kgを入れ、これに水800mlを加え（含水量16%）、表面をならす。

2、二つの容器はプロポクスル20g/1m²（7.5g）と40g/1m²（15g）に、他の一つはスミチオン40g/1m²（15g）を設定し、殺虫剤を表面に均一に散布した。

3、各容器にヤケヤスデ100匹をを放ち死亡数を調べた。これを殺虫剤散布後3週目まで観察を継続した。なお試験中は砂表面を湿潤に保つために小型スプレーで水を噴霧した。

結果

ヤケヤスデを容器に放った後、プロポクスルの40g/1m²と20g/1m²区では1時間後に全部死亡し、プロポクスルは速効性の殺虫剤であることが確認された。これに対しスミチオン40g/1m²区ではヤスデは容器の隅に集合し、24時間後は25%、72時間後に100%の死亡率が得られた。なおプロポクスル40g/1m²区で散布後2週目まで100%の死亡率を示した。

表1 ヤケヤスデに対するプロポクスルとスミチオンの殺虫効力の比較

散布直後（5/10）

月日 殺虫剤	5/11	5/12	5/13				計
P-40	100%						100
P-20	100						100
S-40	25	64	11				100

散布後1週間目（5/17）

月日 殺虫剤	5/11	5/19	5/20	5/21			計
P-40	100						100
P-20	96	4					100
S-40	24	45	46	5			100

散布後2週間目（5/24）

月日 殺虫剤	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/31	計
P-40	83	17					100
P-20	29	26	21	3	2	0	81
S-40	0	4	12	22	7	7	52

散布後3週間目（5/31）

月日 殺虫剤	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/7	計
P-40	43	8	3	10	1	0	65
P-20	7	7	1	4	5	22	46
S-40	2	3	4	22	8	11	50

P：プロポクスル、S：スミチオン、
P-40はプロポクスル40g/1m²